

変えよう！
ニッポンの
家づくり

新建

ハウジング

THE SHINKEN HOUSING

2022

8 | 10

Vol.939

3面	住宅性能	HEAT20「住宅システム認証」を取得
8面	換気・空調	北海道のパッシブ換気・全館空調を東京で
9面	「エコハウス設計メソッド」	本当に役に立つ、施工側から見た工務店の通信簿
10面	データ	6月の住宅着工 持家2ヶタ減、過去10年間で最低

ダクトレス熱交換換気システム
「せせらぎ」AQ
+ ウイルス除菌フィルター
CO₂を自動測定し、コロナ三密対策に。



PASSIV ENERGIE JAPAN
パッシブエネルギージャパン株式会社
☎03-6433-2831
せせらぎ 換気
GOOD DESIGN AWARD 2020

1-2面

国産材でつくる美しい高性能木窓で セーブエネルギー&脱炭素に貢献



香川県丸亀市内にある「佐藤の窓」(スマートウイン)の生産工場

国産材でつくる美しい高性能木窓により、セーブエネルギー(省エネ)と脱炭素に貢献していこう。そんな理想の実現に向け、ドイツ生まれの高性能木製窓「スマートウイン」を、国内で「佐藤の窓」としてライセンス生産・販売するレインボーオーシャンビュー(香川県丸亀市、佐藤大治代表)は、全国の工務店と協働する新組織「スマートシェルジャパン」の発足を呼びかけ、7月28日に同窓を採用するなどして高性能な家づくりに取り組む13社が同市内に集まった。佐藤さんは「われわれと志の同じ仲間、地域の活動のリーダーとなるような“スマートシェルパートナー”を都道府県ごとに募集していきたい」と今後について語る。

胸に「smartshell」のロゴが入ったそろいのTシャツを着たメンバー



笑顔と安心を未来へ

MEAS

ミース
一般社団法人 MEAS
http://www.meas.or.jp/

住まいの長期保証
それはお客さまを想う気持ち
MEASは皆さまの想いを
カタチにし、支えます

新建ハウジングがオンラインで読める!



「タブロイド判」「別冊付録ワンテママガジン」をオンラインで閲覧できるサービスを提供中です。
ログインページ: <https://www.s-housing.jp/webviewer>
※詳細は上記URL(QR)を確認いただくか、右記フリーダイヤルまでご連絡ください。

お問合せ・定期購読お申込み先



0120-47-4341

購読料: 29,040円(税込) / 年 毎月10・20・30日(別冊付録ワンテママガジン)発行

新建ハウジングDIGITAL

<https://www.s-housing.jp>



新建新聞社

東京 〒102-0083 東京都千代田区麹町2丁目3番地3 FDC麹町ビル7階 TEL (03) 3556-5525 FAX (03) 3556-5526
長野 〒380-8622 長野県長野市南県町686-8 TEL (026) 234-1211 FAX (026) 234-1310

木造住宅業界から 森林・林業再生を加速 「スマートシエルジャパン」発足、アフターの拡充も



「佐藤の窓」は、Uw値0.7W/㎡Kを切る断熱性能と日射取得率59%（トリプルガラスECLAZ）という性能の高さ、屋外側の木枠部分をアルミでカバーするアルミクラッドによる耐久性、8.6cm以下という細いフレームのデザイン性、フリーサイズ（縦・横2340cm×3300cm以内）で製造できる柔軟性などが特長だ。フレームは主に九州地方のスギ材（独自の集成加工）を使い、ガラスは提携のガラス工場がECLAZを在庫して国内で製作している



参加メンバーは延べ床面積100㎡と450㎡の2棟で構成する「佐藤の窓」の生産工場を見学。同工場では現在、社員・パートあわせて9人の体制で、年間1000㎡（住宅1棟・25㎡平均×40棟）程度を生産しており、来年には同2000㎡にまで伸ばす見通しだ

振り返る。家づくりを通じて「木造住宅業界から林業を再生し、CO₂を吸収する木材をもっと活用すべき」とも考えていた佐藤さんは、高性能窓＝木製について考えを深めていったが「美しさや国産材活用など多くのハードルを越える製品には出合えたが、パッシブハウスを実現できる“性能”を備える窓には出合えなかった」という。そんななか社員から出た「だったら（自分たちで）つくってみたいです」という言葉に押され、パッシブハウス発祥の地・ドイツ生まれのスマートウィンにたどり着いた。

国産材を標準化

佐藤の窓の供給をスタートしてから約3年、当初はコストが合わず輸入材で生産していたが、現在では九州地

方スギ材（独自の集成加工）を使い、国産材を標準化。増設した新工場も本格稼働したことなどから、パッシブハウスレベルの高性能住宅のづくり手たちを中心に採用が広がっている。これまでレインボーオーシャンビューでは、「手が届く価格」を実現するために代理店を介さずにダイレクトに販売する手法を選択し、全て自社で対応してきたが、今後は施工指導やアフターサービスの強力なネットワークを構築する必要に迫られる。

7月28日には青森や山梨、長野、三重、滋賀、京都、鹿児島など各地から工務店13社が参加し、佐藤の窓の普及を通じてセーブエネルギーと脱炭素の理想の実現を目指す「スマートシエルジャパン」の発足会を丸亀市内で開催した。スマートウィンのライセ

ンサーのプロ・パッシブフェンスター社（ドイツ）では、スマートウィンのメンテナンスや合理的で高精度な施工ができる「スマートシエル」という施工店の認定制度を運用。スマートシエルジャパンでも、各社の連携を強化しながら情報や施工ノウハウを蓄積・活用していく。

全国的なネットワーク構築へ

発足会で佐藤さんは「ドイツでは木製サッシの普及率が20%を超えているのに対して日本では0.1%と“ほとんど無い”に等しいわずかなシェア」とし、「木造住宅のづくり手として、木を使い、育てることにアプローチしているわれわれ（地域工務店）が、国産材を活用した木製窓を普及していくことで、セーブエネルギー

や脱炭素に貢献し“ブループラネット”を実現しよう」と呼びかけた。発足会には、ドイツからオンラインでプロ・パッシブフェンスター社代表のフランチ・フロイндナーさんも出席。参加者に向けて「気候に合わせた窓を開発し、建築現場に合うものを（現場の人たちと）一緒に考えていくことが楽しい。窓は単なる部品ではなく居心地の良い家を実現するために欠かせないものだ」と画面越しに思いを語った。

スマートシエルジャパンでは今後、47都道府県に1社ずつに加えて大都市圏に数社の全国50社ほどのネットワーク構築を目指す。体制が整ってきた段階で、来年にもフランチさんを招き、「スマートシエルジャパンミーティング」を開催する意向だ。

「佐藤の窓」（スマートウィン）を製造・販売するレインボーオーシャンビュー（香川県丸亀市）は、年間12棟限定で高性能住宅をつくる工務店・パッシオパッシブ（同市）の関連会社だ。両社とも佐藤大治さんが代表を務め、専用工場もパッシオパッシブの敷地内にあることなどから、「使い手」が作り上げる超高性能木製窓と言える。佐藤さんは「パッシブハウスを目指した結果、性能のボトルネックである窓に着目し、高性能かつ美しい窓を探すことは、ごく自然な流れだったが、セーブエネルギーと脱炭素を両立し、シンプルで長寿命であるとなると選択は難しかった」と



参加メンバーは座学や現場での研修を行い、性能や施工方法・納まりなどについて理解を深めた



国内では、パッシオパッシブと夏見工務店（滋賀県栗東市）がすでに「スマートシエルパートナー」として契約している。夏見工務店の夏見諭さん（写真左）と佐藤さん（右から2番目）は今年5月にスロバキアで開催された「スマートシエルパートナーミーティング」に参加。プロ・パッシブフェンスター社のフランチ・フロイндナーさん（左から2番目）らと意見を交わした。スマートシエルパートナーになると2年に1回、世界各国で開催される同ミーティングに参加し、最新の知見をキャッチアップしながら、世界のづくり手たちと交流を深めることができる

耐震ウルトラナット
1ケース100個入り・1個あたり200円
サイズ：M12×48mm

インパクトドライバーで取付け簡単!
6本のツメが木材にガッチリくい込みます。
横架材と一体となって地震による歪み発生部や木痩せによる隙間を常に締めつけ、ボルト部の緩みを防止します。

製造販売元 **種市工務店**
TANEICHI-KOUMUTEN
〒243-0035 神奈川県厚木市愛甲1丁目24-32
TEL.046-247-9806 FAX.046-247-6507
info@taneichikoumuten.com